

【月案】 3月・3歳児

今月の保育のポイント

- 感覚的な時期を抜け出し、ある程度自分の育ちを客観視できるようになってくる時期。その力から「次は4歳クラスになるんだ」と成長する実感もあるので、次のクラスへの引っ越し作業など取り組みを通して期待に満ちた姿を後押しする。
- 5歳児に「今までありがとう」の感謝の気持ちをもって接することを意識できるように、卒園式などの行事に向け準備していく。
- 子どもたちと日々を振り返りながら、大きくなることについてどんなふうになりたいかを一緒に考え、期待を具体的に考えられるように促す。
- 異年齢も含め、気持ちが伝わったり、友達と一緒に楽しいを実感できるように、子どもの興味ある遊びの素材を用意しておく。

月のねらい

- 友達の気持ちに気づき、お互いの気持ちに折り合いをつけようとする。
- 鼻をかむ、食後に口の周りを綺麗にするなど、身の回りの清潔さを保とうとする。
- ひな祭りに参加し、日本の文化に親しむ。
- 活動に意欲的に取り組み、進級に期待を持つ。
- 遊びを通して友達と関わり、一緒に遊ぶ楽しさを感じる。
- 体調に留意しながら季節の移り変わりを健康に過ごせるようにする。
- 一人ひとりの気持ちを丁寧に受け止め、情緒の安定を図る。
- イメージを膨らませて遊ぶことを楽しむ。
- 異年齢児と関わる中で思いやりや憧れの気持ちが芽生える。
- 1年間を振り返り、成長した嬉しさを感じる。

週のねらい

その1

- 1週目：ひな祭りに参加し、日本の文化に親しむ（教育）
- 2週目：友達と一緒にイメージを持って遊ぶ楽しさを味わう（教育）
- 3週目：友達の気持ちに気づき、相手の話を聞こうとする（教育）
- 4週目：自信を持って過ごし、進級を楽しみにする（養護）

その2

- 1週目：気の合う友達や異年齢児と遊ぶことを楽しむ（教育）
- 2週目：友だちに思いや気持ちを言葉で伝えて、さまざまな活動に積極的に取り組む（教育）
- 3週目：一人ひとりの成長を認め、安心して進級できるようにする（養護）
- 4週目：春の暖かさを感じながら、日差しの中で伸び伸びと遊ぶ（教育）

その3

- 1週目：寒暖差による体調の変化に留意しながら健康に過ごせるようにする（養護）
- 2週目：全身を使って遊ぶ楽しさを味わう（教育）
- 3週目：身近な自然に触れ、春の訪れを感じる（教育）

- 4週目：友達と一緒に修了式やお別れ会等の行事に参加する（教育）

その4

- 1週目：見通しを持って身の回りのことに取り組む（養護）
- 2週目：素材や道具を使って製作することを楽しむ（教育）
- 3週目：進級に対する思いを受け止め、安定して過ごせるようにする（養護）
- 4週目：保育者や友達と一緒に進級後の新しい保育室で過ごすことを喜ぶ（教育）

前月末の子どもの姿

養護（生活）

- 衣類の着脱がスムーズになってきて、一人で着替えが進められるようになってきた。一方で、寒くて着替えを嫌がり自分で行わずに保育者に甘えくる姿が見られる子どももいる。
- 食べこぼしながらも意欲的に食事を進め、スプーンやフォークを食べ物によって持ち替えている子どももいる。
- 手洗いうがいができるようになってきた。
- 室内外や朝晩の寒暖差によって体調を崩しやすく、鼻水や咳が出る子どもが多くいた。自分からは鼻がかめず、垂れたまま遊んでしまうこともある。
- 年下の子のお世話をしようとしたり、存在が気になり見つめる様子が見られた。
- トイレの使い方が分かっているが、手を洗うことやスリッパを並べることを忘れてしまうことがある。
- 自分から保育者や友達に挨拶する姿、挨拶することに恥ずかしがる姿が見られていた。
- 遊びの後は友達と一緒に片付ける姿が見られるようになってきた。

教育（遊び）

- 友達と一緒に遊ぶことを好み楽しそうに関わっているが、気持ちが伝えられずトラブルになって泣いてしまうこともある。
- 節分お行事に楽しく参加し、異年齢児との関わりも喜ぶ姿が見られた。
- 年中や年長の子の真似をして遊ぼうとするが、手先の不器用さなどもあり上手くできないで困っていることもあった。
- 運動遊びやダンスなど、身体を思いっきり動かす活動を楽しんでいる。
- おままごとやお店やさんごっこなどを通して、友達と同じイメージをもって遊ぶことを楽しんでいる。
- 氷や冷たい水に触れ、冬の自然に興味、関心を持っていた。
- 自分のイメージをお絵描きや粘土等で表現する様子が見られていた。
- 椅子取りゲームで座れなかったり、鬼ごっこで中々タッチできない等の場面で泣いたり、途中から参加をやめてしまうことがあった。
- 自分が作った物でヒーローごっこやお店屋さんごっこに遊びを広げようとする姿が見られていた。
- 年中児や年長児が縄跳びをしている姿に興味を持ち、やってみようとする。
- 毛糸やスタンプ等を使って製作することを楽しんでいた。
- ひな祭りの行事に興味を持ち、歌をうたったり、ひな人形を見て知っていることを言葉にする。

活動内容（五領域対応）／環境構成と援助

養護（生活）

- **活**：相手の気持ちを聞き、自分の気持ちと違いがあることに気づき、自分の気持ちに折り合いをつけようとする。（人間関係・言葉）
環：友達と気持ちの相違があった際には仲立ちをし、相手の気持ちに気づけるように声をかける。また、子どもが自分の気持ちに折り合いをつけられるように援助する。
- **活**：鼻をかんだり口の周りを綺麗にしたりし、清潔さを保とうとする。（健康）
環：鼻水が出ていたり口が汚れている子には声をかけ、一緒に綺麗にすることで清潔にする心地よさを感じられるようにする。
- **活**：ひな祭りを通して、ひなあられやひしもちなどを知る。また、日本の食文化に親しみを持つ。（環境）
環：ひな祭りについて子どもがわかりやすいような絵本やパネルシアターなどを準備しておく。
- **活**：手洗いうがいを丁寧に行う。（健康）
環：手洗いうがいを丁寧に行えるよう、やり方を改めて確認する。
- **活**：「おはようございます」「こんにちは」「いただきます」など場面に応じた挨拶を考え、きちんと行おうとする。（言葉）
環：子どもが率先して挨拶を行えた時にはしっかりと褒め、自信に繋げていく。
- **活**：進級への期待をもって年下の子どもとの関わりを楽しむ。（健康・人間関係）
環：散歩に行く際は下のお友達と手をつないで離さないなど、自分たちが年下の子に出来ることをし、子どもがお兄さん、お姉さんを体験できるように、他クラスの保育士とも話し合う。
- **活**：ロッカーの整理や掃除を保育士と一緒にやる。（環境）
環：ロッカー等を次の子が使うことを伝え進級への期待につなげながら、きれいに掃除・整理する気持ちよさを味わい、物を大事に使う心を育てる。
- **活**：相手の気持ちを知らうとし、周りの友達の様子や表情に気付く(人間関係)
環：子どもが相手の表情を見て話をしているかを観察し、相手の表情が読み取れていない場合は「困った顔しているよ」など、丁寧に気づくように伝えていくようにする。
- **活**：異年齢児と触れ合う中で年下の子に優しくしようとする気持ちや年上の子に憧れる気持ちが芽生える。（人間関係）
環：「嬉しいね」「優しくしてくれてありがとう」と温かく認め、優しくされた経験から憧れや思いやる気持ちが育まれるよう丁寧に関わる。年下の子に対する接し方に戸惑う時は、無理なく触れ合えるよう仲立ちをする。
- **活**：トイレで用が済んだら水を流す、手を洗う、スリッパを並べる等の簡単なマナーを守り、清潔を保とうとする。（健康）
環：「次に使う人が気持ちいいね」「手が綺麗になって気持ちいいね」と言葉かけしながら、共有する場所や自分の清潔に関心が持てるよう関わる。
- **活**：保育者の言葉かけで自分で衣服調節しようとする。（健康）
環：気温や顔色に留意し「温かいから脱いで大丈夫だよ」と言葉かけし、衣服で体温調節できることを知らせていく。
- **活**：意欲的に食事の準備や後片付けを行う。（健康）
環：慎重に片付けようとする姿を温かく認める。運ぶことに慣れて乱暴な扱いになってくる時は「音が鳴らないように優しくおいてね」と伝え、大切に扱おうとする気持ちに繋げる。
- **活**：進級や卒園に興味を持ち、「どうして?」「なんで?」と保育者に聞く。（言葉）
環：疑問に対して、子どもが理解できる言葉で返答しながら理解や納得に繋がられるようにする。言葉だけで理解できない時は、絵本や紙芝居を用いながら伝えていく。

- **活**：プレゼント製作をすることで形や文字等に興味を持つ。（環境）
環：「お花の形してたね」「丸が〇個あったね」「おめでとうって書いてあるんだよ」と形や文字に気付けるような言葉かけをしたり、子どもの気付きを大いに認めて文字や形への関心が高まるよう関わる。
- **活**：進級後の新しいクラスに興味を持ち、友達と過ごすことを喜ぶ。（環境・人間関係）
環：嬉しさや過ごし方に戸惑う気持ち等、一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、保育者や気の合う友達と一緒に過ごす中で心の安定に繋げる。
- **活**：1年間を振り返ったり、修了式に参加する中で1年間の成長を喜ぶ。（健康）
環：写真やこれまでの作品等を振り返りながら一人ひとりが心も体も成長していることを伝え、喜びを味わったり、友達と成長したことを喜び合えるようにする。

教育（遊び）

- **活**：花の芽や虫の存在に気づき、季節の変化を感じる。（環境）
環：今までいなかった虫が出てくるようになっていたり花のつぼみが膨らみ始めた変化を伝え、子どもの気づきになるように援助する。また、自然への興味を高めるために保育室には図鑑や絵本を準備しておく。
- **活**：音楽に合わせて身体を動かすことを楽しみ、体で表現する楽しさを味わう。（表現）
環：思いっきり身体を動かせる遊びと場所を準備し、身体を動かすことを存分に楽しめるようにする。
- **活**：保育者や友達とイメージを共有しながら遊びを進め、一緒に遊ぶ充実感を感じる。（人間関係）
環：保育者も子どもと視線を合わせて遊びに入ったり、遊びに使えるものを製作する機会を設けるなど、子どもの遊びが盛り上がるように援助を行っていく。
- **活**：簡単なルールのある遊びを知り、ルールを守って遊ぼうとする。（人間関係）
環：絵や図、実際モデルを使ってやってみるなど分かりやすい説明を意識する。数回やりながら徐々にルールを浸透させていく。
- **活**：友達との関わりを深め、一緒に遊ぶ心地よさを味わう。（人間関係）
環：友達とじっくり関わりながら遊べるよう、保育者も遊びに入って一緒に楽しむようにする。
- **活**：年長へ感謝の気持ちを込めてプレゼントを製作する。（表現）
環：年長児との楽しい思い出を最初に聞き出し、子ども達が受け取る側のことや喜ぶ顔を想像しながら製作できるようにする。
- **活**：はさみやのり、ペンなど様々な道具の使い方を覚え、正しく使う。（環境）
環：ハサミを使用する際には前もって約束を確認し、怪我なく使用できるようにする。扱いが不安な子どもには手を添え、一緒に行く。
- **活**：ひな人形製作やひな祭りに参加し、春の訪れを感じながら文化に触れる。（環境・表現）
環：桃の節句の意味を3歳児なりに理解できるところまでの範囲で伝えていき、ひな祭りに期待がもてるよう、製作は1週間前から取り組む。
- **活**：友達と思いを共有しながら協力し、身の回りのことや遊びを行う。（健康・人間関係）
環：思いを共有しながら行うことで、他の子がやっていることややり方を見て刺激を受けたり、意欲をかき立てて自分から取り組めるようにする。
- **活**：自分たちの行きたい色々な場所に出かけ、歩くことや遊ぶことを楽しむ。（健康・人間関係・言葉・環境）
環：今のクラスで生活する最後の1か月であることを伝え、やりたいことを出来るだけ叶えられるようにし、充実感が味わえるような内容に努める。
- **活**：体をコントロールしながら全身を使って遊ぶことを楽しむ。（健康）
環：走る・止まる・しゃがむ・ジャンプする等の動きが経験出来るような遊びを取り入れ、自分の体をコントロールできている楽しさや自信に共感する。

- **活**：絵本やアニメ等の登場人物になりきって遊ぶことを楽しむ。（表現）
環：イメージを温かく認め、小物や服を用意しておいたり、必要な物を一緒に作ったりしながら充実感や満足感に繋げる。
- **活**：想像しながら簡単なクイズに答え、言葉を使って遊ぶことを楽しむ。（言葉）
環：果物や動物、身近な物を題材にしなが問題を出し、想像し考える過程を大切にしながら、言葉で遊ぶ楽しさを感じられるようにする。
- **活**：ブロックや積み木、粘土等で自分のイメージを形にすることを楽しむ。（表現）
環：集中して遊ぶ姿を見守り、作った物や子どもの言葉からイメージを汲み取り、共感していくことで充実感や喜びに繋げる。
- **活**：「嬉しい」「悔しい」等の思いを経験しながら、ルールのある遊びの楽しさを味わう。（健康・人間関係）
環：それぞれの気持ちに寄り添い、「○○したから勝てたのかな」「次はどうしたら勝てるか考えてみよう」等と言葉かけしながら、次回への意欲に繋げ、集団遊びの楽しさを味わえるようにする。
- **活**：年中、年長児と関わる中で、新しい遊びに挑戦しようとする。（健康・環境）
環：やってみたいという意欲や何度も挑戦しようとする姿を見守り大いに認めながら、挑戦する気持ちや粘り強く取り組む力を育ていけるようにする。
- **活**：嫌なことや悲しいことがあった時に保育者に伝えようとする。（言葉・人間関係）
環：友達と関係が深まっていく中での様々な気持ちに寄り添い、心の安定や乗り越えようとする力に繋げる。言葉にできない時は、伝えやすい雰囲気を作り、代弁・共感しながら安心して気持ちを言葉に出来るよう関わる。
- **活**：絵本や紙芝居に親しみ、友達と一緒に見たり聞いたりする。（環境）
環：物語に集中できる落ち着いた環境の中で読み聞かせながら、場面ごとの感情や気付きに共感し、物語の楽しさやイメージする力に繋げる。
- **活**：お花紙やシール、リボン、紙粘土等の様々な素材に興味を持つ。（環境）
環：手触りや大きさ、個数、長さ、柄等に気付く姿を受け止め、身近な物に対する興味や関心を深められるようにする。
- **活**：季節の歌を聞いたり、うたったりする中で冬から春への移り変わりを感じる。（表現）
環：花のつぼみや鳥の鳴き声等、身近な自然と歌を照らし合わせていき、歌からも冬から春への移り変わりを感じられるよう働きかける。

健康、安全面で配慮すべき事項

- 春の気候が感じられる日も増えるが、寒暖差がまだ厳しい日もある。子ども一人ひとりの服装に気をつけ、必要であれば衣類の着脱を促していく。
- 運動遊びの際には準備体操などをきちんと行い、怪我予防のために身体を十分に温めてから活動を始める。また、広々とした場所で行い、安全面に十分に配慮する。
- 室内の気温に配慮し、必要に応じて暖房をつけたり換気を行うことで快適に過ごせる温度を保つ。
- 季節の変わり目の体調の変化に留意し、触診や検温を行いながら早期対応出来るようにする。
- 子ども同士で手を繋いでいる時は腕を引っ張りすぎていないか確認する。
- ハサミを使う時の環境や人数等を職員間で話し合っておき、安全に楽しめるようにする。

今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

製作

- 気球に乗ってどこまでも～紙皿でオリジナル気球を作ろう～／輪飾りおひなさま／にじみ絵で着物を着せよう！ひな人形製作

歌

- あらどこだ／に・て・る／はるよこい

絵本

- はなをくくん／ぼとんぼとんはなんのおと／ひみつひみつのひなまつり

手遊び

- キャベツの中から／ピクニック／さかながはねて

室内室外遊び

- 人間知恵の輪／ハンカチ落とし／めくって「おはよう」

行事

- 誕生日会
- 避難訓練
- 身体測定
- ひな祭り（3月3日）
- 耳の日（3月3日）
- 春分の日（3月中旬）
- 電気記念日（3月25日）
- さくらの日（3月27日）

食育

- ひな祭りに関する食べ物に触れ、日本の食文化に親しむ。
- 口の周りが汚れたり食べこぼしたりした際には自分で気づき、綺麗にしようとする。
- 食べるものによってスプーンやフォークを持ち替える習慣をつける。
- 食べることへの感謝の気持ちが芽生え、食事を楽しむ。
- 箸を使って食べることを喜び、こぼしながらも食べようとする。
- 普段と異なる雰囲気の中で異年齢児と食事をすることを楽しむ。

地域と家庭との連携

- 一人ひとりの1年間の育ちを伝え、子ども達の成長を家庭とともに喜ぶ。
- 寒暖差のある季節が続くが、暖かい日も増えてくる。そのため、調節しやすいような衣服を着てくると伝える。

- 気の合う友達とクラスが離れるかもしれないなど進級に対して不安を感じる子どももいる。園と家庭での様子を伝え合い、子どものサポートに協力してもらえようにする。
- 1年間の保育への理解、協力、行事への参加等を感謝する。
- 家庭と連携を図りながら体調管理に努める。
- 進級に向けて、もう一度持ち物の記名や洋服のサイズ等を確認してもらう。

自己評価

- 気の合う友達と遊び込み、一緒に遊ぶ楽しさを感じることができたか。
- ルールのある遊びでは、ルールを守りながら遊びを進める充実感を感じることができたか。
- 着替えの際には自分で行うなど、身の回りのことを自分で行っていたか。
- ひな祭りに楽しく参加し、興味を持てたか。
- 相手の気持ちを聞き、自分の気持ちに折り合いをつけようとしてできていたか。
- 異年齢児と関わり、進級に対して期待を持って過ごせたか。
- 春への移り変わりを感じ、自然に興味を持てたか。
- 進級に対する一人ひとりの気持ちに寄り添い、安心して過ごせるようにしたか。
- 季節の変化に留意しながら、健康に過ごせるようにしたか。
- 年長児に対する感謝の気持ちや応援する気持ち、憧れが芽生えていたか。
- 一人ひとりに合った食具を使って食事をすることができたか。
- 1年間の成長に気づき、喜びを味わえるような働きかけをしたか。
- 一人ひとりのイメージを大切にしながら遊び込める環境を作れたか。
- 保護者の進級に対する不安や疑問等が無くなるような関わりを持てたか。